

投稿資格

筆頭投稿者は埼玉県臨床検査技師会会員に限る。また、共同執筆者は10名以内を基本とするが、それを超える場合は編集委員長に問い合わせる。

投稿原稿の種類

投稿原稿は、原著、研究、症例、試薬と機器、資料、検査室ノートおよび会員のページに分類され、その内容および原稿枚数については以下に示す。

【原著】臨床検査、公衆衛生分野の基礎および応用に関するオリジナルな内容のもの。25枚以内〔表および図（10枚以内）を含む〕。

【研究】基礎的臨床的研究、追試、改良などに関するもの。20枚以内〔表および図（7枚以内）を含む〕。

【症例】症例に関するもの。20枚以内〔表および図（7枚以内）を含む〕。

【試薬と機器】試薬や機器の検討に関するもの。20枚以内〔表および図（7枚以内）を含む〕。

【資料】管理運営、調査などに関するもの。20枚以内〔表および図（7枚以内）を含む〕。

【検査室ノート】検査室で使用している機械、器具、測定法などに対するアイデアや工夫。10枚以内〔表および図を含む〕。

【会員のページ】趣味、意見、見聞、体験、感想などリラックスした自由なもの。10枚以内〔表および図を含む〕。

投稿によらない原稿

「総説」、「技術解説」、「研修会記録」、「研究班報告」、「文献紹介」、「書籍紹介」などであり、編集委員会が協議し決定する。

論文の倫理

1. ヒトを対象とした研究などは、ヘルシンキ宣言およびこれに準拠した倫理規定に従い実施されていることが必須であること。原則として所属機関の倫理委員会等の承認を得たこと、インフォームドコンセントが得られたことを論文中に記載する必要があること。動物を取り扱った研究においても施設内の動物実験に関連した委員会等の承認を得た旨を記載すること。

2. 患者本人などを特定しうる個人情報をも本人の承諾無く無断で開示しないこと。

利益相反 (COI : conflict of interest)

1. 投稿論文に関して特に企業製品の評価に関する論文に関して助成金を受けている場合などはその旨を必ず記載する。

2. COIに関する事項については、その有無を申告し様式3利益相反申告書に記載提出する。

原稿の取り扱い

原稿の採否、分類、掲載順序などは原稿の査読終了後に編集委員会が決定する。また編集方針に従って、修正などをお願いすることがある。なお、投稿原稿は原則として返却しない。

原稿の作成

原稿はA4版の用紙に、1頁あたりの文字数を20字×20行とする。表および図（写真を含む）は1点につき原稿1枚とカウントする。文章の句読点はすべてコンマ（,）ピリオド（.）とし、度量衡などの単位は、SI単位の使用を原則とする。本文には頁Noを必ず記載する。

また、原稿の形式は内容や分類によって若干異なるが、原著、研究、症例、試薬と機器および資料では、以下の順に記載することが好ましい。

1. 投稿表紙：本誌綴り込みの投稿表紙に必要事項を記入し、原稿に添付する。なお、埼臨技ホームページからもダウンロードできる。

2. 本文：はじめに、I. 方法、II. 結果、III. 考察、IV. 結語の順に記載する。また原著の場合は和文要旨（400字以内）を添付する（または英文Summary、200ワード以内でも可）。なお、埼臨技ホームページから所定のWordテンプレート（A4）をダウンロードできる。

3. 表および図：文字は明朝体で作成し、必ず表題（表は上、図は下）をつける。表および図はそのまま製版・印刷が可能ないように鮮明に描く。また編集委員会で認めた場合はカラー写真を含む原稿も受け付けるため、カラー写真の掲載を希望する場合は投稿前に編集委員長に問い合わせる。

4. 引用文献：本文中の引用順に番号をつけて以下のように記載する。なお、著者（または編集者）は筆頭者から5名までは列記し、6人目からは、「ほか」または「et al.」として省略する。

〔雑誌〕著者名：表題、誌名、巻数：通巻の始頁-終頁、発行年

＜例：著者が6名以上の場合＞

1) 結城 篤, 長沢光章, 荻野毅史, 山崎堅一郎, 廣瀬米志ほか：埼玉県内における肺炎球菌の抗菌薬感受性について。埼臨技会誌, 49:173-179, 2002

＜例：著者が1名の場合＞

2) Suzuki Y: Color reaction of aromatic aldehyde with serum protein and its application to the determination of serum total globulin concentration. Anal Sci, 16:145-149, 2000

〔単行本〕著者名：表題、書名、始頁-終頁、編集者、発行所、発行地、発行年

＜例：著者が4名の場合＞

1) 村井哲夫, 森三樹雄, 佐藤尚武, 伊藤機一：脂質代謝異常。やさしい臨床検査医学, 154-163, 南山堂, 東京, 2001

＜例：著者が1名で編者がいる場合＞

2) 古川 研：赤血球型。輸血学, 201-206, 遠山博編, 中外医学社, 東京, 1989

原稿の送付方法と送付先

1) 誓約書および同意書(様式2)、利益相反申告書(様式3)はオリジナル1部。

2) 原稿と投稿表紙(様式1)はオリジナル1部とコピー1部。

3) 原稿と投稿表紙のデータファイル(CD, DVD, USBなど)

1)～3)を下記宛に書留で郵送する。

〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会

編集委員会宛

別刷

50部贈呈する。希望により有料で応じる(100部：1万円)。希望者は投稿表紙に記入するか、掲載通知後7日以内に当会事務所に申し込む。

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会「埼臨技会誌」投稿表紙

論文分類	<input type="checkbox"/> 原著 <input type="checkbox"/> 研究 <input type="checkbox"/> 症例 <input type="checkbox"/> 試薬と機器 <input type="checkbox"/> 資料 <input type="checkbox"/> その他 ()		
専門分野	<input type="checkbox"/> 微生物 <input type="checkbox"/> 免疫血清 <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> 臨床化学 <input type="checkbox"/> 病理細胞 <input type="checkbox"/> 生理 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公衆衛生 <input type="checkbox"/> 輸血 <input type="checkbox"/> 情報システム <input type="checkbox"/> 遺伝子・染色体 <input type="checkbox"/> 管理運営 <input type="checkbox"/> チーム医療 <input type="checkbox"/> その他		
表題	(英訳)		
キーワード (5個以内)	1)	2)	3)
	4)	5)	
会員番号			
筆頭執筆者名	(ローマ字)		
所属施設名 (所属部課名) (英訳)			
所属施設所在地 (英訳)	〒	TEL:	E-mail:

共同執筆者

氏名 (ローマ字)	会員番号 (半角数字)	所属施設名/所属部課名
		(英訳)
		(英訳)
		(英訳)
		(英訳)
		(英訳)
		(英訳)
		(英訳)
		(英訳)
		(英訳)
		(英訳)
		(英訳)
		(英訳)
		(英訳)
		(英訳)
		(英訳)
連絡先	〒	TEL: E-mail:
原稿枚数	表	図
別刷	50部 (無料)	有料
	部	写真
	送付先	*引用・転載の場合は、許諾を受けたものに限る
		<input type="checkbox"/> 1. 所属施設 <input type="checkbox"/> 2. 連絡先

*埼臨技会誌編集委員会記入欄

原稿番号		採用	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否	掲載	巻号
原稿受付日		採用通知日			
受領通知日		掲載通知日			

《他誌への重複投稿はないことの誓約書》

論文表題

上記投稿原稿を埼玉県臨床検査技師会「埼臨技会誌」に投稿するにあたり原稿の内容が国内外を問わず他誌に未発表のものであることを誓います。

筆頭執筆者： _____ 印

《執筆者ならびに共同執筆者の同意書》

論文表題

上記投稿原稿を埼玉県臨床検査技師会「埼臨技会誌」に投稿するにあたりその内容について、筆頭執筆者、共同執筆者（7名まで）の同意が得られていることを証明するために、執筆者全員の自筆署名を提出します。

筆頭執筆者： _____ 印

共同執筆者	1		印
	2		印
	3		印
	4		印
	5		印
	6		印
	7		印

*編集委員会記入欄

利益相反申告書

投稿論文に関連して、筆頭執筆者が開示すべきCOI関係にある企業等を項目ごとに記載する。

(投稿から過去1年間以内のCOI 状態を申告)

項目	該当の状況		(有の場合) 企業・団体名の記載
	区分	有無	
① 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職などの有無と報酬額 (1つの企業・団体から年間100万円以上のものを記載)	本人	無 ・ 有	
	親族	無 ・ 有	
② 株の保有と、その株式から得られる利益 (1つの企業の1年間の利益が100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)	本人	無 ・ 有	
	親族	無 ・ 有	
③ 企業や営利を目的とした団体から特許使用料として支払われた報酬 (1つにつき年間100万円以上のものを記載)	本人	無 ・ 有	
	親族	無 ・ 有	
④ 企業や営利を目的とした団体より、会議の出席(発表)に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料など (1つの企業・団体からの年間合計100万円以上のものを記載)	本人	無 ・ 有	
	親族	無 ・ 有	
⑤ 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料	本人	無 ・ 有	
	親族	無 ・ 有	
⑥ 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費(治験、委託受託研究、共同研究)など (1つの企業・団体から支払われた総額が年間200万円以上のものを記載)	本人	無 ・ 有	
	親族	無 ・ 有	
⑦ 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学寄付金(奨励寄付金)などの有無 (1つの企業・団体から支払われた総額が年間200万円以上のものを記載)	本人	無 ・ 有	
	親族	無 ・ 有	
⑧ 企業や営利を目的とした団体が提供する寄附講座、企業等からの寄附講座に所属している場合に記載	本人	無 ・ 有	
	親族	無 ・ 有	
⑨ 研究、教育、診療とは無関係な旅行、贈答品など1つの企業・団体から年間5万円以上のものを記載	本人	無 ・ 有	
	親族	無 ・ 有	

※親族とは配偶者、一親等内の親族、または収入・財産を共有する者

※本利益相反申告書は投稿採用後、2年間保管されます

年 月 日

筆頭著者： _____ 印

原稿番号 _____ * 埼臨技会誌編集委員会記入